

「全日本選手権自転車競技大会ーマスターズ」 レースレポート

【開催地：静岡県・伊豆ベロドローム 開催日：2017年11月18・19日(土・日)】

佐野伸弥選手 (MINOURA 大垣レーシング)

今回出場した大会は、全日本マスターズ選手権ということで、35歳以上の日本一を決める大会に今年から35歳になったということで、出場しました。

一昨年、国民体育大会などの大きな大会を後輩たちに譲り、後輩たちの選手育成や、競技力の向上に携わるようになり、全日本レベルの大会からは退いていた状態にありましたが、今年の照準をこのマスターズ選手権に絞ってきました。

時期的に、仕事などで忙しい時期ではありましたが、自分とチームを組みたいと誘ってくれたメンバーのおかげもあり、時間を調整しながらでしたが参加にこぎつけることができました。



大会は、スプリントと、1kmタイムトライアル、チームスプリントの三種目にエントリー。

スプリントは4人予選通過できるところの5位ということで、予選で敗退してしまいました。

続く、1kmタイムトライアルについては、1位の選手と、1/100秒差の中に上位3人が拮抗する接戦でしたが、自分がラスト125mで失速。優勝することができずに、結果3位ということになりました。

残す種目はチームスプリント。この種目は3人でスピードを上げていき、250mの走路を一人ずつロケット方式で離脱し、750m走った時の3人目のタイムで競うという種目になります。

自分はこの種目の2番目の走者を任せ、1走目の選手が加速したスピードを3走の選手に繋ぐという重要な役割での発走となりました。自分以外の選手は、500mタイムトライアルという種目で、年代別ではありますが、優勝と3位に入っている選手ですので、勝てないわけがないと思ってスタートしましたが、結果は昨年も優勝したチームに負けてしまい2位となってしまいました。

今回の大会は、全日本オムニウム選手権という大会とパラサイクリングの大会と同時開催とあり、今本当に日本で一番強い選手を決める大会と障がい者スポーツと、生涯スポーツとのすべてで日本一を目指す方々と同じ会場で白熱した戦いをすることができました。

それぞれ、目指す目標や、目指す位置は違うにしても、日本一を目指す気持ちはみんな一緒なので、そういった方々と一緒に切磋琢磨できたことが、今回の大会のでの一番大きな収穫となりました。

来年こそは、日本一になり、自分を支えてくださっている皆様に恩返しができると思います。

今シーズンは、出場する大会も少なく、中途半端なシーズンとなってしまいましたが、来シーズンに向けてまたしっかり体を鍛えて、来シーズンに備えていきたいと思っています。

今シーズンも応援ありがとうございました。

2017年11月28日 MINOURA 大垣レーシング 佐野 伸弥

